

月例会「小田原宿Ⅰ」

(令和元年9月14日(土)・19日(水)・22日(日))

小田原宿は、江戸を出てから九番目の宿場。前宿の大磯宿との間には「徒歩渡しの酒匂川」、次の箱根宿との間には「天下の嶮の箱根山」という難所があり、そのため本陣・脇本陣が各4軒、旅籠が95軒もある大きな宿場でした。
範囲も広く見どころも多い小田原宿は二回に分けてご案内致します。

天候にも恵まれ、3回の例会で合計271人という多くのお客様にご参加いただきました。



改札口、コンコースや階段下など所要所でののご案内は、お客様と最初に顔を合わせる大事な仕事です。
黄色い帽子、黄色いベスト、黄色い旗そして明るい笑顔がご案内致します。



月例会は、ガイド・誘導をはじめ受付・集金等々様々な仕事を分担して運営されています。そのために多くの会員の参加が必要となります。
受付開始前の朝のミーティングでは、実行委員長から、注意事項などの伝達が行われます。

お客様は早起きです。受付開始は9時からですが、30分以上前にはお見えになっています。



ミーティングが終わったら、いよいよ受付開始…お待たせしました！

先着順に受け付け、班編成を行います。予約状況や当日の天候によって一班の構成人員を増やしたり、減らしたり…
最終班にしわ寄せがいかないように、まさに実行委員長の腕の見せ所です。



一日のコース概要の案内、小田原宿全般の説明や担当するガイドの紹介等々を行います。通常は、集合場所で行いますが、今回は近所の公園へ移動して行いました。
ウォーミングアップのストレッチをしたらいよいよ出発です。



多人数で歩きますので、地域の方や歩行者や車に迷惑を掛けないように気配りを…歩く隊形は一列が基本です。



酒匂神社



小田原宿最初のガイドは「酒匂神社…」もとは駒形社といった酒匂村の鎮守さま！
かつては鎌倉幕府の将軍宿舎・休憩施設「浜辺御所」があり、源頼朝も宿泊したという…とても賑わった宿のようでした。

上輩寺



市の天然記念物「大銀杏」は、小田原三大銀杏の一つで、乳柱が100本以上もあり乳イチョウとも呼ばれています。
「酒匂氏の五輪塔3基」も市の文化財に指定されています。



渋滞した時には時間調整のため一口ガイド…雑ネタはガイドの宝であり、秘密兵器です！



スーパーをお借りして休憩タイム…トイレと水分補給をお忘れなく！

酒匂川の渡し碑



江戸時代、大きな川には橋を架けず「舟渡し」か「徒歩渡し」で渡河しました。酒匂川は、人足による肩車や輦台の徒歩渡し…増水すると川留めとなりました。
今は、安心して渡れる立派な橋が…



網一色八幡神社



酒匂川の西岸にあった網一色村の鎮守さま。境内には新田義貞と忠臣宇都宮泰藤を祀る新田社があります。新田社の「忠犬と大蛇の絵額」を拝観出来ました…皆さん興味深げに覗き込んでいましたね！



大久保忠世旗立ての松



豊臣秀吉の小田原攻めの際、大久保忠世の陣所を視察した秀吉は、その陣構えの立派さを褒めて、戦後は大久保忠世を4万5千石の小田原城主とするよう家康に命じたとか…その陣所跡にある常願寺のれんげ幼稚園の敷地に「伝旗立ての松」がありますが、地元の人でもあまり知らないようで…

篠曲輪と呼ばれた小田原北条の出丸があった地で、井伊直正などの徳川軍と激戦を交わし、敵味方双方に多数の犠牲者が…総構の外にあり「捨曲輪」とも呼ばれました。

朱子学者林羅山の漢詩にも詠まれた、昼間でも井戸の水に星が映るといふ「星月夜の井戸」が境内にあります…勿論、今は映りませんよ！



山王神社



江戸口見付跡(山王一里塚跡)

見付は、宿場の玄関口…東の江戸口見付と西の京口見付の間が宿場になります…ここから小田原宿に入ります！

山王一里塚は、江戸から20番目の一里塚…江戸からの距離は約80kmで、江戸時代の旅人の2泊目の宿泊地として賑わったようです。



八代龍神(古新宿龍宮神社)

暴風のため古新宿町の浜辺に打ち上げられた豊臣方加藤清正の軍船の親柱に納められていた龍神を祀ったのが始まりとか…小田原の漁師の守り神として崇められています！



丸う田代総本店

休憩とお買物は「丸う田代」で…冷たいお茶と蒲鉾の試食は好評です！

丸う田代は「かまぼこ通り」で、明治初年に鮮魚商を営むかたわら蒲鉾の製造を始めた老舗です。



清水金左衛門本陣跡

清水金左衛門本陣は、小田原宿に4軒あった本陣(清水・片岡・久保田・清水(彦))のうちの筆頭…明治天皇の宿泊は5回を数え、「明治天皇小田原行在所址」と刻まれた碑が立っています。

天保期の清水金左衛門本陣は、間口33m、屋敷面積400坪、建坪242坪の大本陣…すごいですね！



おだわら宿なりわい交流館



実行委員長・副実行委員長は多忙です！



「なりわい交流館」は、住吉屋吉衛門と呼ばれた江戸時代の旅籠…現在は、なりわいの紹介や観光案内、お休

み処として利用されています。私たちも、休憩場所として利用し、スタンプラリーの押印、次回例会の予約票の回収を行っています。冷たいお茶の接待がうれしいですね！

御幸の浜



明治天皇と皇后がおそろいで、当海浜で地引網をご覧になったことから、「御幸の浜」と呼ばれるようになりました！

幕末にはお台場が築かれ、8門のカノン砲を備えていたとか…



旧滄浪閣跡(海防土塁跡)



滄浪閣は、初代総理大臣伊藤博文の別荘跡…大磯の滄浪閣に移るまでの7年間別荘として居住していました。民法発祥の地といわれています。

銅像の立つ土塁は「海防土塁」跡で、当初は高さが4mもあったそうです。

正恩寺楼門



この楼門は、木造・入母屋造瓦葺で、正面に掲げられた「法性山」の扁額の裏に記された年代から、寛政5年(1793)に建てられたことがわかります…なかなか古いものですね！

お城のような「ういろう」の建物を見ながら解散地点の「箱根口」へ！

ウォークの最後は、クールダウンの体操です。暑い中一日ご苦労様でした！！



